

アンケート用紙回収枚数 【43】

問1 あなたがこのセミナーを知ったきっかけは？（複数回答有）

- ・チラシ、ポスター 【18】
- ・メール 【7】
- ・新聞 【4】
- ・口コミ 【15】
- ・その他 【5】 [ 知人、友人からの連絡、会からの案内 ]

問2 新政府の方針、CO<sub>2</sub>の削減中期目標、90年比マイナス25%について、このセミナーを聴く以前に、あなたはどのように思っていましたか？（複数回答有、コメント）

- ・削減目標はよいが、実現性に乏しい 【16】  
[ というよりかなり苦しい ]
- ・削減目標はよいと思うし、実現可能 【22】  
[ せねばならない  
もっと大きく、できるはずなのだけど・・・。 ]
- ・削減目標が高すぎるし、実現不可能 【0】
- ・削減目標をもっと大きくすべき（マイナス30%） 【7】  
[ できれば。今の大変な状況を考えると・・・。 ]
- ・その他 【2】  
[ 25%の数字が高いとしてもそれをめざして努力をする。可能なのかなのかはわからなかったが焼却ゴミを（我が家から出す）を半分に減らせばと考えたのですが・・・。  
削減目標はよい。実現できるよう努力したい。 ]

問3 このセミナーを聞いて、考えは変わりましたか？

- ・変わらない 【23】  
[ これまでも考えていたことなので。要はどれだけ辛抱するか・・・だ。  
初心にかえて頑張らなくてはと思いました。  
排出量取引も有効であると。 ]
- ・変わった 【20】
- ・無回答 【1】

問4 3で「変わった」と答えられた方、具体的には？

- ・自分たちで何を目指すかが少し理解できた。
- ・自身が出来ました。
- ・住民のさりげない話題にしていけそうな気がした。
- ・産業部門にかんしては、まだまだエネルギー削減の効率化に余地があること、家庭部門でも家庭製品の買い換えによる転換・・・等、できることが沢山あること。実際にこの考えをどのように世間に普及させていくかが大きな課題だと思います。
- ・確実に実現可能であると思える。
- ・個人で頑張っていたけど、なかなか変えられないと思っていたが、国家レベルで努力することで希望が少し見えた。
- ・麻生政権時の家計負担計算がずさんだったと思う。
- ・私自身いかに勉強不足であるか認識しました。
- ・経済や政治の事をあまり考えに含めることができなかった。
- ・目標は達成できないものではないということ。主な具体的な策もあるが、自分たちがどういう社会を目指すかが重要なポイントだということ。
- ・どこに注目していけばよいのかビジョンが見えました。
- ・説得力のある削減プランがたくさんあることがわかったから
- ・ここまでできるという数値は具体的に示されなかったが、まだ削減できる余地はあるという事は理解できた。
- ・25%実現可能への考えが強くなった。
- ・政権が変わったことで産業、教育、外交などに働きかけられるのではと感じました。
- ・努力すれば出来るということがわかりました。
- ・「地域がおとなしすぎる」ということ。
- ・マイナス25%の数字の根拠がわかった。また、可能になる道筋がわかった。
- ・今までの政権では、個人負担が大きく荷が重かったがこれからの政権が変わってきているので、期待でき嬉しい限りです。
- ・削減目標30%でもできるのではと思いました。

問5 今後、私たちにどんなことができると思いますか？

- ・生活ひとつひとつの見直し。
- ・「25%削減はとうてい無理」などという人たちに支えられている政党の議員を国政、地方政治の場から追放させることができるのは、われわれ有権者です。それも大事だし、私たちが家庭生活でできる削減の手口はいっぱいありながらできていないことをまず手始めに……。私自身は2年半前にマイカーに離別しました。自転車と公共交通機関だけの生活をしています。日本人のメタボ体系化にブレーキをかけないと脱マイカー、脱エアコンは無理なのかな！
- ・家庭の省資、省電力。
- ・発言し、行動すること。
- ・多くの人に関心を持ってもらうこと。
- ・身近な生活の中での消費電力等の見直し。まず、家庭の中での電力（給湯、空調・・・）の使用量を把握して自分たちがどの程度負担をかけているのかを知ることから始めることが重要と思います。
- ・地球温暖化という問題の縮図が家庭や、自分たち自身にあると改めて思いました。生活の中で、一人ひとりが当事者意識を持つことからが第一歩。
- ・使い捨て防止、リサイクル推進。
- ・省エネルギー機器への買い替え。
- ・ゴミを出さずにすむものを選んで買うことなど。
- ・電気機器購入の際、参考になりました。
- ・市民一人ひとりの意識が変わること。
- ・私たちの力で変えられるのは、買い替えも含め節電などを平行して行う必要があると思った。
- ・一人ずつでも、自分の周りの人たちを巻き込んで考えて行動していくことが出来ると思います。
- ・政府への呼びかけ。
- ・税金の負担、知識・情報の取得→吟味した選択、各家庭でのエコ。
- ・社会システムを変える方向に支援し、自らは省エネ消費、生活を進める。
- ・暮らしの中から、機器やライフスタイルなどの見直しはもちろん、目標達成のためには社会全体のしくみも変えていけるよう努力する必要がある。
- ・生活しながら機器の買い替え、省エネ物品を使うこと。
- ・しなければならぬことがあまりにも多すぎて、頭がついていかない。必ず、何か誰かを悪者にするのではなくて、できていない所はどうやればよいのかと言う前向きな提案が必要です。
- ・生活そのものを物質中心から心の豊かさを求めるものに変えなければならない。経済・産業の発展とマイナス25%は相反するが、私たちの生活を変えればよい。もちろん科学技術の発展で低CO2の車、生活用品（電化製品）などの開発は必要。
- ・省エネルギーへの努力をするべきである。
- ・日常生活で省エネ（省CO2）をしようとするれば、トップランナーを購入するためかなり資本が必要。
- ・家庭内でできることを考える。太陽熱、電力利用したいが。子どもたちに伝えていく。
- ・興味、関心を持ち続ける。
- ・一人ひとりからの行動。車社会からの脱却、ゴミの減少。過剰な便利さの追求からの脱却。
- ・まちづくりを再構築すること。
- ・ライフスタイルを変えなおすことが大切。
- ・個々のエコだけでなく、大きな社会に目を向け、町・市・県全体と大きく広げていく可能性がある
- ・平田さんの今日のようなお話を市民みんなの学びあいを広げる中で合意していく。

問6 平田さんのお話で一番心に残ったことは何ですか？

- ・小規模、分散型エネルギーをめざさなければという点。
- ・CO2削減、温暖化対策について、国会議員の洗脳が出来やすくなった。この機会にまずそれを実践したい。次の参院選で現政府与党の各党が [ ] を勝ちとるよう一層の努力をお互いにしましょう。
- ・極めて多岐にわたった話が聞かれ、マイナス25%を理解する上に参考になった。
- ・内容のレベルの高さと、スカート長さのクラシックさ。
- ・「老人が車に乗らないと病院にも行けないような社会がやさしい社会と言えるのか？」という言葉が印象に残っています。徳島県は特に車社会（同時に公共交通が弱い）なので、車のみに依存する社会が将来にわたって維持されるのかが大きな問題だと思います。
- ・「革命を起こさないといけない」歴史の本で、産業革命や市民革命を学んだが、今、私たちが未来のために行動を起こさないといけないので大意に賛成です。
- ・温暖化の取り組みへの仕組みがわかった。アメリカのオバマ政権の取り組みは本当にすごい。以後の日本での取り組みを期待したい。
- ・マイナス80%はドラスティックな革命が必要。
- ・技術で解決できる！とのメッセージ。全くその通りだと賛同しました。
- ・家電買い替えや公共交通網整備などを気楽に口にしているような印象を受けた。80%は困難・・・どうすべきか。
- ・私たち責任大です。心に残ったこと①「ドラエモン型またはトトロ型」社会！どちらを選ぶか。②30%は減らせる。
- ・マイナス25%はリスクは生じるが実現可能だということ。
- ・日本が私たちの呼びかけに徐々に応えてきてくれていると言うこと。
- ・ハード対策中心で大幅にCO2削減が実現可能なことを教えて頂いたこと。
- ・大きな目標も一人ひとりから社会全体、企業や事業所も含めて達成に向かうなら日本でモデルケースが可能かもしれないと思える。夢、希望が持てました。ただ、その先のことについて準備が今から必要であるあるという危機的状況が生まれてきました。国内でのしっかりした対応が出来るか、きちんとメスが入るのが大切だと思いました。
- ・CO2削減の具体的な各種方法。
- ・マイナス25%は容易だ。
- ・国内1500事業所が大半のCO2を出している。
- ・マイナス25%が実現可能ということが論理的に理解できた。
- ・大きな事業所でどれだけ減らせるか？
- ・全世界で取り組んでいることがわかった。
- ・世論、地方からの声を
- ・今後の努力によってマイナス25%は実現可能であると言われたこと。
- ・待ったなしの状況がひしひしと伝わってきました。プラス思考でCO2削減の問題を捉えて実行していくことがポイントであること。
- ・可能であることがわかった。
- ・25%削減の手段、着眼点のところ。一番大きく排出しているところに法的な規制をつくり、やる事が削減の道であるという事。それが出来る可能性を様々な例、実態をあげるとも説得力があった。

問7 その他感想などお聞かせ下さい。

- ・本当は今日、この会場に来ていない人たちにいかに伝えるかだと思います。そのためには、私たち自身の削減実践とロコミで周辺の人々に運動を広めることでしょうか。
- ・大変話が聞き取りやすく、理解ができました。
- ・平田さんを国会へ送りたいです。
- ・地球温暖化についてNPOのかたからお話を聴くのは初めてでしたが、非常に専門的かつ分かりやすいお話だったと思います。今後は日常生活の中で自分たちがどのように行動していくのか？そのモデルとなるようなお話を聞きたいと思います。
- ・基本的には思っていたことをもう何歩かおし進めること。もうちょっとお性根に入れるということだろうか。まわりに広げるための、後理論というか実行をどうするか
- ・今、26歳です。地球温暖化や高齢化という問題、平和な社会を作るために出身地徳島に帰ってNPO団体で活動を始めました。今はボランティアで仕事ではありませんが、今ある社会のように将来の社会は私たち世代がつくっていくべきだ、加わっていくべきだと強く感じます。まだゴールまでは遠回りで時間がかかりますが、周りを巻き込みCO2削減を含めて未来のために努力していきます。
- ・鳩山総理がマイナス25%を発表した後だったので、興味深くお聞きしました。
- ・資料が読みづらかった。また、不自然な日本語が少なくなかった。
- ・いい試みでした。
- ・経済を維持しながら対策を進めていくのは大変だと思う。
- ・技術にやはりたよるしかないのか。並行して私たちの行動が出来るような対策を大学の講師をしながら考えて実行させていますが、なかなか難しいですね。環境家計簿を大学生にさせていますが、効果はあります。こういった一人×何百人の効果はある。意識改変を自分たちで考え習慣づけることを目的に行っています。
- ・今の現状を詳しく知ることができ、勉強になりました。家庭、地域、国、世界と狭い視野から広い視野まで幅広く考えていきたいと思いました。
- ・良かったです。このまま温暖化の意識を高めていってください。
- ・原子力のお話でも電力を作り出すときのCO2はゼロでも発電所の廃棄の時期など考えると大変な状況が想像される。地域の人たちが反対する声を聞いたら今の電力会社のPRにきちんと正しい知識を人々の中に広げることが大切だと実感しました。
- ・CO2削減社会をつくっていく努力をお願いしたい。
- ・LEDの利用はECOなのか？LEDの安全な処理方法は未だ充分でない聞いています。
- ・車、家、電化製品を買い換えるときはエコのものをというが、簡単に買えないのが今の庶民の生活。ここが難しいですね。
- ・私たちは電気を四国電力からしか購入できません。石油から発電した電気、原子力から発電した電気、自然エネルギーから作った電気というような中から選んで買えると面白いと思いました。それによっては私たちの生活からCO2排出量をもっと減らせるかもしれません。(四国電力への働きかけとして)
- ・良い講演でしたので、広く皆に知ってもらう手段を考えて下さい。
- ・自宅ではすでに太陽光発電、太陽熱温水器ヒーターを設置しておりますが、12月から売電の原価が約1.8倍になるのでなかなか元(設置費)がとれないですね。ご講演ありがとうございました。
- ・やはり原子力に頼らざるを得なくなるのではないかと心配する。数字合わせは出来るが現実味が乏しい。不便も選択の一つと思う。

- ・もっと低層市民に合わせた対策でないと達成できないと思う。
- ・未来の姿を、人（全員？）が同意できなければ温暖化防止へはつながらないと思う。リスクは必ずあるということを意識しなければならない。
- ・時間のわりに内容が豊富すぎた。現状分析より今後の対策に的を絞ってもっと時間を割いて欲しかった。（ゆっくり語って欲しかった。）
- ・何か具体的に行動を起こさないといけないと実感しました。
- ・今後もよりわかりやすい環境問題をテーマにした講演をお願いしたい。
- ・大変、明るい希望を持たせていただける学習会でした。